

# 語り合おう 憲法



## ～ 憲法9条と自衛隊・イラク戦争～

日本国憲法が施行されて60年、国民投票法案が成立するなど憲法を改正しようという動きが再び急となってきました。憲法を改正すべきか否かは、私たちの子や孫が生きていくこの国のあり方を決める、とても重要なことです。

特に憲法9条に代表される平和主義原則は、イラク戦争と日本のかかわり、自衛隊の存在と活動等との関係の中で、議論の焦点になっています。

私たちの生存に関わる問題として憲法9条・イラク戦争と自衛隊について、一緒に考えましょう。



### 第1部

基調報告 松山秀樹

(弁護士 兵庫県弁護士会憲法問題委員会委員長)

### 第2部

DVD上映「イラク 戦場からの告発」

(イラクの子どもを救う会 西谷文和氏 編集)

### 第3部

パネルディスカッション

「憲法9条と自衛隊、イラク戦争そして平和」



### パネリスト

奥本京子氏 (大阪女学院大学准教授)

井上正信氏 (弁護士 広島弁護士会所属)

徳永信一氏 (弁護士 大阪弁護士会所属)

とき **2007年10月20日** (土)

午後1時～4時30分ごろ

ところ **兵庫県弁護士会 (本館) 4階講堂**

〒650-0016 神戸市中央区橘通1-4-3

JR「神戸」駅から徒歩7～8分

神戸高速鉄道「高速神戸」駅から徒歩7～8分

神戸市営地下鉄「大倉山」駅から徒歩5～6分

特別企画

「憲法についての作文募集」

テーマ: 「憲法・人権・平和」

日本国憲法に関わる内容なら自由

締切: 9月末日消印有効

～中高生・若い方の作品歓迎～

優秀作品には図書カードをさし上げ、

集会当日に表彰

詳細は弁護士会ホームページを参照

会場へは公共交通機関をご利用下さい。

**参加無料**

主催・お問い合わせ先

**兵庫県弁護士会**

電話 078-341-7061 (代)

**予約不要**

兵庫県弁護士会ホームページ <http://www.hyogoben.or.jp/>

後援: 日本弁護士連合会

# パネリストの紹介

## 奥本 京子氏 (大阪女学院大学准教授)

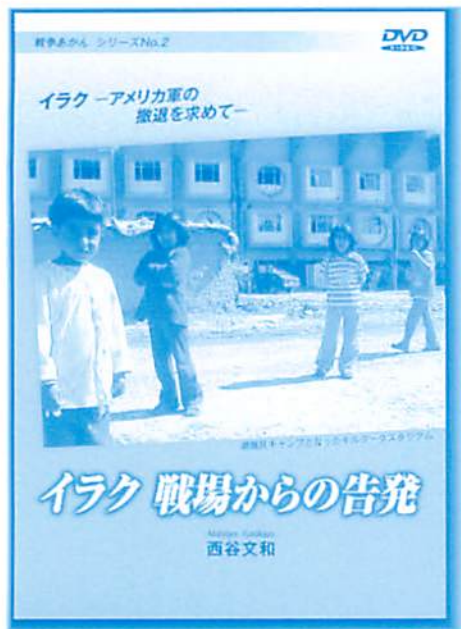
1995年～6年、英国国立ランカスター大学大学院修士課程平和学専攻、平和学修士。  
1999年3月、神戸女学院大学大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程単位取得退学。  
大阪女学院短期大学勤務を経て、2004年4月より大阪女学院大学勤務（現、准教授）。  
日本平和学会、トランセンド（平和的手段による紛争転換）研究会事務局長、非暴力平和隊・日本理事他。  
紛争転換・平和構築において、文学・芸術・文化の果たす役割について考えている。  
「平和を拓く—安齋育郎教授退職記念論集—」2006年（共著）、  
「ガルトゥング平和学入門」、2003年（共著）など。

## 井上 正信氏 (弁護士)

73年3月 京都大学法学部卒業  
同年4月 司法研修所入所  
75年4月 弁護士登録  
尾道総合法律事務所所長  
現在、広島弁護士会平和推進委員会副委員長、  
日弁連憲法委員会、日弁連有事法制問題調査  
研究委員会委員  
自由法曹団、日本国際法律家協会、日本反核  
法律家協会などの法律家団体へ所属

## 徳永 信一氏 (弁護士)

58年2月9日生まれ  
85年 京都大学法学部卒業  
89年 司法修習終了(40期)、大阪弁護士会登録、  
日弁連憲法委員会委員  
担当事件：大阪薬害エイズ訴訟  
靖國応援団補助参加訴訟  
教育大附属池田負傷児童損害賠償事件  
江沢民法輪功迫害訴訟  
沖縄集団自決冤罪訴訟  
著書：編著「薬害エイズ国際会議」（彩流社）  
共著「靖國神社の呪いを解く」（小学館）  
「新世紀の靖國神社」（近代出版社）



上映DVD 「イラク 戦場からの告発」  
(イラクの子どもを救う会 西谷文和)

